

練習拠点「DRAFLA BASE」

佐伯地域にオープン



▲DRAFLA BASE
広島ドラゴンフライズのぼり

※11月28日には、オープンしたDRAFLA BASEの完成を祝う竣工式が行われました

令和4年11月末に佐伯地域にて、広島ドラゴンフライズの練習拠点（通称：DRAFLA BASE）がオープンしました。地域を挙げてチームを応援する機運を醸成するため、佐伯地域では、いたるところへ広島ドラゴンフライズのぼりを設置しています。練習拠点の向かい側に位置する、友和小学校のフェンス沿いには、たくさんぼりがたなびています。

選手×子ども

バスケットボールを通じた交流



▲熱中症対策標語に応募してバスケ教室に参加した子どもたち。選手の大きさに圧倒されていました

市と広島ドラゴンフライズは令和3年9月に連携協定を締結し、子どもの健全育成に関することや、スポーツ振興に関する事、地域活性化に関する事などを相互に連携協力することとしています。令和4年6月には、市、広島ドラゴンフライズ、大塚製薬株式会社の三者により、熱中症対策標語コンテストおよび広島ドラゴンフライズバスケ教室を開催しました。



▲子どもたちは、船生選手の華麗なドリブルに圧倒されつつも懸命にボールを追いかけていました

バスケ教室開催のほかに、地域と交流を深める取り組みの一環として9月には、広島ドラゴンフライズから認定子ども園友和こども園へ組み立て式バスケットゴールが贈呈されました。

7月には、友和小学校で学校授業におけるクラブ活動支援を行いました。友和小学校で実施しているクラブ活動の中でも、バスケットボールは非常に人気であり、大きな声で選手に挨拶をするなど元気いっぱいクラブ活動を楽しみました。子どもたちは船生選手やスクールコーチから基礎的な技術を教わった後、選手と子ども5人による1点先取の変則マッチを行いました。

新たな風に乗れ

廿日市市から

勇猛果敢な「勝ち虫」

× 宮島とんぼ



▲チーム名の由来である宮島とんぼ

ドラゴンフライは日本語で「とんぼ」を意味します。とんぼは古くから縁起の良い虫とされ、戦に勝つことが重要な戦国時代の武将たちが、好んでとんぼの飾りを付けたとされています。とんぼが武将たちに好まれたのは、まっすぐ前にしか飛ばないという習性が由来とされています。とんぼはまっすぐと前方に進み、後戻りすることはありません。また、「カチカチカチ」と聞こえる、とんぼの鳴き声からも「勝ち虫」と呼ばれ、縁起が良いとされています。

モヒカンアビの豆知識

宮島には環境省レッドリストの絶滅危惧ⅠA類に分類されている「ミヤジマトンボ」という希少種が生息しているんだ！ミヤジマトンボは体長が約5センチメートルのシオカラトンボの仲間で、胴体にある白や黒の斑点模様が特徴だよ。ミヤジマトンボたちが生息できる潮汐湿地を守るために、平成24年7月3日、宮島はラムサール条約湿地に登録されたんだ。



◀広島ドラゴンフライズ公式キャラクター
モヒカンアビ

チーム名である「広島ドラゴンフライズ」は宮島町に生息する「ミヤジマトンボ」に由来しており、バスケットボール特有の「跳ぶ」動きにイメージを重ね、馴染み深いモチーフとされています。

後ろに下がらず、前へ前へ！ 地域とともに、さらなる飛躍へ



小中高生は無料で観戦！ ドリームカードで応援しよう！

ドリームカードは、広島県内の小・中・高校生、約30万人へ配布している広島ドラゴンフライズのホームゲームを観戦できるカードです。

※詳しくは
二次元コードから



広島ドラゴンフライズは4人の新加入選手を迎え、10月1日から新シーズンに挑んでいます。廿日市内でも、選手育成の一環としてスクールを開催するなど、市内のバスケットボール熱が高まりつつあります。また、プロの試合を見たことがない人は、ぜひ一度試合を観戦してみてください。コートに俊敏に駆け回り、正確なシュートを決める選手の姿に圧倒されることと思います。頻繁に試合を見に行きたい人は、お得なプースタークラブ制度もあります。広島ドラゴンフライズのホームページから確認してください。